

NJSSの情報源について

NJSSの情報は、弊社のクラウドソーシングサービス [シュフティ] の担当ワーカーが収集しています。決められた曜日の週3回、発注機関のwebサイトにアクセスし、調達ページだけでなく、お知らせページなどからも公示情報や結果情報を収集しています。また、NJSSでは登録情報の正確さ向上を目的に、品質管理課を設け、正しい情報が登録されているか、登録漏れはないか本社スタッフが二重チェックを行っています。また、収集ワーカーの研修プログラムを用意する等ヒューマンエラー防止に努めています。



? なぜ人力で収集するの？

プログラム収集では入札情報を完全網羅できないからです。

発注機関によって表記に統一性がなかったり、PDFや画像データで掲載された場合、プログラムでは入札情報と判断されず**収集できない可能性がある**ためです。
※一部プログラム収集も行っています。

仕様書について

公示書

入札を行う日程や場所など、案件の概要が記載された書類のことです。より具体的な参加要件や手順が記載された、『入札説明書』とは異なります。

仕様書

入札案件の目的や対応範囲、購入するものの内容や、業務内容が詳しく記載された書類です。公示書に記載されていない参加条件が記載されていることがあります。

? NJSSに仕様書が載っていないのはなぜ？

発注機関webサイトで仕様書や入札書が公開されるのは稀なケースです。

基本的にwebでの公開は案件公示書までに留まることが多く、機関に**直接問い合わせなければ詳細情報は手に入りません**。そのため、webでの掲載が無い限りはNJSSでは収集することができません。ただし、webで公開されている場合には、NJSSでもきちんと収集、掲載しています。



? なぜ公示日の無い案件があるの？

A 結果だけ公開された案件には公示日がないことがあります。

随意契約や指名競争、時に一般競争など入札案件によって**案件の公告がない**こともあります。NJSSでは結果のみが公表された場合でも情報を収集し掲載します。右図の通り、公示日が落札日より後の日程、または、『---』と表記されます。



? NJSSに載ってる金額は税込み？税抜？

A 金額の記載は機関により異なります。

税込・税抜きの表記は機関により異なるためNJSS上では判断できかねます。仕様書や入札説明書等の資料に記載されている可能性もございますが、発注機関のHPを確認していただくか発注機関へ直接お問い合わせいただく方がより正確な情報を得ることができるため、オススメしております。

? なぜ公示日が落札日より後になっているの？

A NJSSに情報登録された日を公示日として掲載しています。

発注機関のHP上で落札結果のみ発表されている場合、NJSSに情報登録された日を公示日として掲載しています。随意契約や指名競争など、発注機関から参加企業を指定されているような入札に多く見られます。

? なぜ落札結果情報が一部掲載されていないの？

A NJSS未掲載の場合まだ結果が公開されていないか今後も公開されない可能性が高いです。

落札結果は半年ごと・年度ごとなど、**公開頻度は機関によって様々**です。また、年度が変わっても結果が公開されない場合もあります。残念ながら、NJSSでは機関からの結果公開がない限りは入札日（開札日）が過ぎていても掲載することができません。

? なぜ同じ案件があるの？

A 案件によっては同じものが別の機関からも公示されることがあります。

例えば、文部科学省と東京大学のように、文部科学省からも東京大学発注の案件が公示され、東京大学自身からも公示されることがあります。**落札結果は一方（片方）の機関からしか出ないケースがある**ため、情報漏れのないよう、同じ案件でも登録をしています。

? なぜ随意契約や、指名競争の情報も載せるの？

A 過去の案件情報の分析やキーワードの参考に活用されています。

他社がどんなキーワードで案件を検索しているのか、類似案件がいくらかで落札されているのかなど、分析に活用されています。また、**落札会社に対しての営業を目的**としている企業にとっては**営業先のリスト**として活用されています。

? なぜ公示日とNJSSに情報が掲載されるタイミングに差があるの？

A 機関のWEB掲載遅れの場合があります。

何らかの理由で、機関側が公示書に記載した**公示日通りに公示できなかった**ケースがあります。その場合、どうしてもタイムラグが数日単位で発生いたします。